

電気ストーブの火災が起こっています

洗濯物が落下して火災

事例

居間から出火し、全焼して1人が死亡した。(平成20年2月 静岡県)

原因

電気ストーブの上部に干していた洗濯物が落下して着火し、出火したものです。



就寝中にふとんが触れて火災

事例

就寝中に火出し、全焼して1人が死亡した。(平成21年1月 大阪府)

原因

電気ストーブをつけたまま就寝したため、寝具がヒーターに触れて着火し、出火したものです。



ストーブに触れたふとんに着火しました。(再現実験より)



ストーブの上や近くで洗濯物を乾かさないうでください。また、ストーブの周辺にもものを置かないでください。

就寝中は、使用しないでください。外出する際は、電源を切り電源プラグを抜いてください。

【電気ストーブのチェックポイント】

1つでも該当したら、使用を中止してメーカー等に相談してください。

- ・本体に変色があったり、焦げくさいにおいがする。
- ・電源コードや取付部や、電源プラグに傷やふくれがある。
- ・電源に触れたり折り曲げると、電源が入ったり切れたりする。
- ・電源コードの一部や電源プラグ、スイッチが熱い。

リコール社告中のハロゲンヒーター等で事故が起こっています

リコール社告中のハロゲンヒーターやカーボンヒーターで事故が多発しています。

お使いのハロゲンヒーターやカーボンヒーターが該当製品でないかNITEホームページで確認してください。

<http://www.nite.go.jp/jiko/index4.html>



左の3種はリコール社告該当製品の一部です

まき兼用石油ふろがまの使用 방법에注意してください

周囲の可燃物に燃え移って火災

事例

住宅から出火して全焼し、1人が死亡した。(平成19年1月 群馬県)

原因

使用済みのまきの燃えカスを入れていた袋から出火し、周囲の可燃物に燃え移ったものです。



まき兼用ふろがまの近くに枯れ葉に引火しました。(再現実験より)



まわりにものを置かないでください。焚き口に適したまきを使い、しっかりとふたを閉めてください。空焚きにならないよう注意してください。接続不良やすすなどに対するメンテナンスを行ってください。

空焚きで火災

事例

石油ふろがまの運転スイッチを入れたら出火し、壁が焼けた。(平成21年1月 福岡県)

原因

空焚き防止装置のついていないふろがまに水を張らずに運転スイッチを入れたため、ふろがまが過熱し、壁に着火したものです。

石油ふろがまは、「長期使用製品安全点検制度」の対象製品です。購入時に、所有者登録をしてください。また、制度が始まった平成21年4月1日以前に製造・輸入された製品も製造時期を確認して、メーカーの点検を受けてください。



このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

